

福岡看護大学

【所在地】

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号

【主な交通手段】

- ・地下鉄七隈線「賀茂駅」下車、①番出口より徒歩約10分
- ・西鉄バス「福岡歯科大学前」下車（福岡歯科大学グラウンド方面に到着）徒歩約5分、西鉄バス「歯科大病院」下車徒歩約2分、または西鉄バス「次郎丸団地」下車、徒歩約8分

《交通案内》 <https://n.fdcnet.ac.jp/access>

【キャンパスの概要】

本学は、福岡歯科大学、福岡歯科大学医科歯科総合病院、福岡医療短期大学、介護老人保健施設並びに企業主導型保育事業による認可外保育所（ぺんぎん保育園）が同じキャンパス内にあるほか、社会福祉法人学術会への設置する介護老人福祉施設が学園のキャンパスに隣接し、医療・保健・福祉を学べる、恵まれた環境となっています。

《校地・校舎面積》

区分	校地	校舎
福岡看護大学	※共用 100,057 m ²	専用 7,044 m ² ※共用 12,761 m ²
計	100,057 m ²	19,805 m ²

※印は福岡歯科大学、福岡医療短期大学と共用

■教育・研究施設

・講義室

1階に101講義室、2階に201～203講義室（3室）を配し、全て南に面した明るい講義室。迫力ある150インチのスクリーンには、フルHDプロジェクターから鮮明な画像・映像が映し出されます。

・情報処理実習室

2階にあり、デスクトップ型パソコン123台を設置。情報処理、文書作成、統計分析、インターネットによる情報検索、電子メール等のコンピュータ端末を使った様々な活動が実施できるよう整備されています。

・セミナー室

2階に5室、3階に3室あり、小グループでの学習に活用。

・看護実習室1～4

2階にある実習室（1室）及び3階にある実習室（3室）には、ベッド、沐浴槽、分娩台やADLコーナーを設置するとともに、病気の症状がプログラムされたシミュレーター人形フィジコで呼吸や心臓などの異常症状を学習することができます。またデモンストレーションなどを65型のディスプレイで映し出し、室内のどの場所においても臨場感のある実習が受けられます。

・図書館

1階にあり、受付、閲覧室、書庫等があります。令和7年3月現在で12,229冊の蔵書を保有。閲覧室の座席数は108席、パソコン席3席（視聴覚利用も可能）。看護学分野の教育研究を行うために必要な専門図書、学術雑誌、外国書、電子図書、オンラインデータベース、映像資料などを順次整備しています。

図書館は学内無線LANを利用し、学内や病院内のどこからでも蔵書情報検索、オンラインジャーナル・電子図書・オンラインデータベースの閲覧、他校への文献複写依頼などが可能で、学生のアクティブ・ラーニングによる学力と学習能力の向上が期待されます。また図書館内には、グループ学習室が4室用意されており、授業やゼミでの使用の他、学生同士のグループワークや自主学習にも自由に使用することが可能です。

開館時間：平日9:00～20:00、土曜9:00～12:30（休館日は日曜日、祝日、年末年始ほか）

※このほか、本学学生は福岡歯科大学・福岡医療短期大学図書館も自由に活用することができます。

・福岡歯科大学医科歯科総合病院（日本医療機能評価機構認定）

地域の中核的病院としての役割も担っています。

歯科各科をはじめ内科、外科、心療内科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、麻酔科（ペインクリニック）、小児科、整形外科、皮膚科がありCTやMRI等の画像診断装置も備えています。また、歯科と

医科の多職種の医療スタッフが連携して、地域医療に貢献するため、平成 29 年 10 月に訪問歯科センター、11 月に内視鏡センターを開設しました。訪問歯科センターでは、往診による歯科治療や口腔ケアなどの口腔管理を行っています。内視鏡センターでは、内視鏡検査に加えて、内視鏡治療と内視鏡手術を行っています。歯科および医科それぞれの診療科が協力して全身的、総合的医療を展開するとともに、大学の臨床教育の場として全身疾患を広く学ぶ環境が整っており、学生は歯科と医科を横断的に学び「患者中心の医療」の現場を体験・実習していきます。

また、令和元年となる 2019 年に病院の建替え工事が開始され、令和 2 年 9 月 29 日に延床面積が現在の病院の約 1.5 倍となる新病院が開院しました。開院とともに健診センターを開設し、一般の特定健診、後期高齢者健診、よかドッグなどに加えて、口腔健診を含む全身の健診を行っています。

・福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 口腔医学研究センター

口腔医学研究センターは令和元年 10 月 1 日に設置されました。次世代シーケンサーMiSeq や組織化幹細胞蛍光観察装置システムなどの先端的設備を擁しています。福岡学園 3 大学におけるこれまでの先進的かつ独自性の高い研究活動を一層推進・拡充し、ブランディング強化を図るため、「常態系」、「病態系」、「再生系」、「臨床歯学系」、「医学系」の 5 つの口腔医学プラットフォームを構築しました。それぞれのプラットフォームでは口腔の健康は全身の健康を守るという「口腔医学」のコンセプトに基づいた共通目標のもと、独自の先駆的研究に取り組むとともに相互の連携研究にも取り組んでいます。

■学生支援施設

・1 階エントランスホール

玄関からのエントランスホールは、正面に大階段があり、開放感抜群です。また 2 階学生ホールに設置された近代看護の生みの親、ナイチンゲール女史のステンドグラスが大階段から学生を出迎えます。

・1 階ラウンジ

1 階に設置されたラウンジ (40 席) 及びラウンジルーム (36 席) では、学生たちが休憩時間やお昼休みのひと時を楽しく過ごしています。

・キャリア支援室

看護学部生を対象に進学相談、就職活動支援、国家資格試験対策、卒業後の継続的なキャリア支援を目的に、学生のキャリア形成を総合的に支援していきます。

・保健管理センター (保健室)

1 階保健管理センターには 1 台のベッドが設置され、体調不良の学生が利用できるようになっています。

・2 階学生ホール

講義の合間の休憩や放課後などに利用されています。(104 席)

ナイチンゲールのステンドグラスとともに「ナイチンゲール誓詞」が学生の傍らに常にあり、看護を目指す学生の指標となります。またグランドピアノが置かれ、優しい音色の自動演奏が心を和ませます。

・福岡歯科大学・福岡看護大学・福岡医療短期大学 保健管理センター

令和 4 年 9 月、同年 7 月に完成した 50 周年記念講堂 4 階に保健管理センターが開設されました。

相談室と応急処置の設備を有しており、学生および教職員の心身の健康管理を支援しています。

・Restaurant TOMATO (食堂)

50 周年記念講堂 1 階にあり、400 以上の座席が用意されています。開放的な空間の中で食事を楽しむことができます。

快適・安全な設備

・バリアフリー

1 階には、自動開閉ドア、エレベーター、障がい者用のトイレを設置しています。

・夜間警備

午後 8 時以降は、部外者や不審者の出入りを防ぐため、校舎の出入口はオートロックとなり、カードで開錠するシステムとなっています。監視カメラ設置や警備員の定期巡回と併せて防犯対策が強化されています。

《キャンパスマップ》 <https://n.fdcnet.ac.jp/campus/campusmap>

【運動施設の概要】

グラウンドなど運動施設はすべて福岡歯科大学、福岡医療短期大学と共用です。

■グラウンド (22,040 m²)

野球場、サッカー・ラグビー場（夜間照明有）を有し、体育系部活の練習や試合等に活用されています。

■弓道・アーチェリー射場(231.95 m²)

危険防止を重視した設計で、弓道やアーチェリーの公式競技にも使用可能な本格的施設です。

■体育部室(867.2 m²)

部室棟にはシャワー室、洗濯室を完備しています。